

報告書

AFPS 2023 にて口頭発表

2023年11月8日から10日にベトナムのハノイで開催された「Asian Federation for Pharmaceutical Sciences (AFPS) 2023」に参加しました。本学会では「Collaboration for Breakthroughs in Pharmaceutical Sciences」というテーマのもと、様々な分野の研究者たちが一堂に会して議論を交わし、私自身、参加されていた研究者達の研究への熱意に非常に感化されました。

私は、「Trehalose-based respirable powder formulation of pranlukast for the treatment of airway inflammatory diseases」という題目で口頭発表を行いました。本研究は、気管支喘息に対する経口治療薬として用いられている“プラナルカスト”の吸入剤を開発し、効率的な呼吸器疾患治療を指向しました。また吸入剤開発にあたり、賦形剤として従来から広く使用されていたラクトースの代わりに、有望な特性を有するトレハロースを新たに使用しました。開発した吸入剤について、物理化学的特性、薬理効果、および経肺投与後の薬物動態を精査し、その結果と考察を報告しました。

国際学会への参加は初めてであったため、念入りの準備の上、発表に臨みました。発表内容の説明は練習通りできたものの、質問内容を聞き取ることに最も苦労しました。質問された先生が簡単な表現に言い換えるなどをしてくれ、その場をなんとか終えることができましたが、十分に議論できなかった悔しさは帰国後もずっと心の中に残っています。

今回の学会を通して、研究面・語学面ともに一層の努力が必要であると痛感し、今後の研究生活への意欲が高まりました。この度は、貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。

薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 薬剤学講座
博士前期課程 2年 増井 一樹

